旅行業・運輸

KabuK Style

# 旅のサブスク「HafH」を刷新

## “つみたて旅行サービス”へ、米国にも進出

毎月定額でコインを購入し、たまったコインで旅行・宿泊予約ができる旅のサブスクサービス「HafH（ハフ）」。運営企業のKabuK Style（砂田憲治代表取締役）は7月23日、東京都内で会見を開き、8月1日に同サービスのコンセプトを「旅のサブスク」から「つみたて旅行サービス」にリニューアルすると発表した。これに合わせ、毎月のコイン積立額を柔軟に設定できる「ウォレット機能」を開始。自分のペースで賢く旅を積み立てる体験を提供する。

概要を説明する同社代表取締役の砂田氏

### 料金体系を見直し 柔軟な積み立て実現

KabuK Styleは、トラベルフィンテック企業として2019年に創業。同社が提供するハフは、毎月定額で「コイン」を積み立て購入し、たまったコインで世界中の宿泊施設に滞在できるサービスで、今年5月末時点で国内外の1万5千施設と提携している。サービスはこれまで日本、韓国、台湾の3カ国・地域で展開しており、会員数は13万人以上を擁する。

今回のリニューアルでは、これまで2種類用意していた定額積み立ての料金体系を見直す。従来の「スタンダードプラン」（月額9800円で毎月300コイン付与）、「ベーシックプラン」（月額2980円で毎月80コイン付与）を改め、新たに「ウォレット機能」を開始。8月1日以降はコイン単価を一律32円とし、毎月100～2千コインを50コイン刻みで自由に積み立て設定できるようになる（別途基本料金月額200円が発生）。

ウォレット機能の導入に合わせ、コイン残高に応じた特典「ウォレットボーナス」も導入。使わなかったコイン残高に対して、年率最大12％のボーナスコインを毎月付与する。年率は会員ランクに応じて異なり、積立継続月数3カ月未満の「レギュラー会員」は1％、同3カ月以上の「シルバー会員」は3％、同6カ月以上の「ゴールド会員」は6％、同12カ月以上の「プラチナ会員」は12％の年率で、ボーナスコインを付与。ためるほどお得になる仕組みとなっている。

同社代表取締役の砂田氏は、コンセプトリニューアルの背景について、定額で使い放題というイメージのある「サブスク」という言葉とサービスの実態にギャップがあったと説明。多くのロイヤルユーザーと1年間にわたるディスカッションを経て、コンセプトの刷新に至ったと報告した。

同サービスの強みについては、価格・ユーザー行動・キャンセルリスク、それぞれの推定が可能なAIアルゴリズムによって、「前日までキャンセル無料」「安定した価格設定（ワンプライスで価格変動が少ない）」を実現したことにあると説明。「キャンセル料が発生する「宿泊料金が変動する」といった不安を徹底的に解消することで、客室選択→日程選択→確定、のわずか3クリックで予約が成立できるユーザー体験を提供しているとした。

### 米国市場にも参入 事前登録1000件突破

砂田氏は、サービス展開の4カ国目として米国市場に参入することも発表した。すでに「KABUK.com」の名称で、7月にベータ版をリリース。（米国からの）インバウンドが伸びているほか、1人当たりの消費額も非常に大きい。日本企業で世界を取りに行こうといったとき、絶対に避けては通れないマーケットだ」と砂田氏。早期に米国市場に参入し、実績を残す重要性を強調した。

本格ローンチに先立ち、SNSでの告知も展開。YouTubeでのサービス説明動画は22万回以上再生されていると報告した。「（米国ユーザー向けに）すでに事前登録を始めているが、1千件を突破した。すべて予約が成立すると、6億円相当になる。日本に行きたいというアメリカ人の方は非常に多く、今のサービスに満足していないということなのだと思う」と砂田氏。日本企業が独自ブランドを掲げて米国で挑戦することへの期待に応えていく意気込みを語った。

### AIチャットも開始 LINEで旅行相談

同社は、LINE対応のAI旅行コンシェルジュ「ハフっち」も7月30日にリリースした。LINE上で気軽に旅行相談できるサービス。各都市のおすすめの宿泊施設や滞在方法など、AIキャラクター「ハフっち」がハフの宿泊データや旅行体験をもとに、最適な情報を提供する。

「特化型AIのため、検索している範囲が非常に限定的で、（検索から結果表示までの）スピードが速い」と砂田氏。

公式LINEをともだち追加すれば、ハフ会員以外も利用できる。

---

鳥海高太朗の 交通トレンド分析 ―297―

## 万博に2日間行くなら、本町駅周辺に泊まるのが便利

大阪・関西万博も日程の半分を折り返し、10月13日の閉幕まであと2カ月近くとなった。これから万博を訪れる予定がある人もいると思うが、私自身は7月末現在、プライベートと仕事を合わせてすでに19回訪れている。

首都圏をはじめ、宿泊を伴う形で万博へ行かれる方におすすめしているのが、初日はゆっくり移動して、夕方から万博へ行き、翌日は朝9時のオープンから2日目の万博を楽しみ、夕方前には会場を出て帰宅するプランだ。特に酷暑が続いており、万博の目玉である「大屋根リング」は涼しくなる夕方以降に上って、夕陽をバックに記念撮影をするのがおすすめで、夜20時前に花火、そして水上ショー、さらには21時前からのドローンショーも楽しむのがいいだろう。16時以降の入場であれば3700円で入れる「夜間券」がお得である。特に会場となっている夢洲は風があるので夜は非常に快適であり、夕食も混んでいるお店もあるが、スムーズに入れるところも多い。

そしてパビリオンの予約が難しいという問題があるなか、当日入場してから10分後から予約できる「当日予約」、予約なしでの列に並ぶなどすることで複数のパビリオンに行くことを考えると、朝9時の予約枠を確保して、朝8時前からゲート前に並ぶのが、私のこれまでの経験で考えるとベストである。

そしてホテル選びについてであるが、2日間万博へ行くのであれば、間違いなく本町駅周辺をおすすめする。本町駅は大阪メトロ御堂筋線と中央線の乗換駅となっており、万博の東ゲートに隣接する夢洲駅へは中央線で乗り換えなし、新大阪、梅田（大阪駅）、なんばへも御堂筋線で乗り換えなしで行けるので便利だ。それほどホテル代も高いエリアではない。

特に万博会場へは車輪の付いたキャリーバッグの持ち込みが禁止されており、夕方から万博へ行くのであれば、いったんホテルにチェックインをしてから身軽な格好で万博へ行けるほか、何よりも万博会場では歩く時間も多く、帰りはヘトヘトになっているときに乗り換えなしでホテルに戻れるのは非常に楽である。

本町には飲食店やカフェも多くあり、食事にも困らないほか、地下鉄が複数乗り入れていることもあり、移動が便利だ。夏休み期間で万博へ昼間を含めて2日以上行くのであれば、7月19日～8月31日まで毎日入れるパス「夏パス」がお得で、大人1万2千円、中人7千円（12～17歳）、小人3千円（4～11歳）。ちなみに万博は平日券が6千円、1日券が7500円、夜間券（16時以降）が3700円となっている。

（航空・旅行アナリスト、帝京大学非常勤講師）

---

月別取扱額 5月

東武トップ

## 総取扱額は14％増

東武トップツアーズが7月18日に発表した5月の販売実績は、総取扱額が前年同月比14・1％増の123億360万円となった。国内旅行は6・7％増の86億5570万円と、前年を上回った。

国内旅行のうち、団体旅行は8・5％増。種別では一般団体が18・2％増、教育団体は4・0％増。個人旅行の企画商品は4・6％減で、企画商品を除く個人旅行は3・7％減となった。

海外旅行は0・9％増の16億1861万円で、団体旅行は3・0％増。種別では、一般団体が3・3％増、教育団体は2・3％減。個人旅行の企画商品は42・8％減、企画商品を除く個人旅行は0・7％減だった。

訪日旅行は150・7％増の15億5735万円。受託事業などを含むその他は6・9％増の4億7193万円。

今年4～5月の累計は、総取扱額が前年同期比11・6％増の2012万円、国内旅行が8・4％増の1140億6385万円、海外旅行が6・3％増の30億4527万円、訪日旅行が41・2％増の20億1050万円、その他が30・4％増の10億51万円。

### 新米を3年間提供 NFTチケット発売

東武トップ

東武トップツアーズは7月25日、NFTマーケット「HEXA」を運営するメディアエクイティと連携し、合同会社ねっかが発行する「新米3年チケット」を発売した。

チケットは一つ1万円、100枚限定で販売。毎年1回、新潟県只見町の新米5㌔を今年から3年間受け取ることができる。

受け取りは10月10日から12月21日までで、同町のねっか奥会津蒸留所で行う。期間中に受け取りに行けない購入者には、「米焼酎ねっか」（ねっかSpecialEdition720㍉㍑、めごねっか720㍉㍑各1本）をプレゼントする。

そのほか、同町で毎年行う農業体験の優先案内や、試飲付きのねっか蒸留所見学、米焼酎ねっかのファンクラブ会員としてオンラインコミュニティに参加できるなど、特典も用意している。

購入はHEXAの申し込みページ（https://nft.hexanft.com/users/gGAWjWeLuOQ4/issued）から。

8月15日まで販売し、18日から2次取引を開始する。「NFT技術を用いたチケットで、デジタル上で安全に取引ができる。デジタルを活用して地域の活性化と活力を生み出す活動を展開していく」と同社。

### 道の会員証 埼玉県小川町と発行

東武トップ

東武トップツアーズはこのほど、埼玉県小川町の観光振興と関係人口の創出を図るべく、「道の駅おがわまちデジタル会員証」の発行を始めた。

この取り組みは、同社、小川町、東武鉄道の協働で、観光振興などを通じた地域活性化や地域課題の解決を目指し、2023年7月に締結した連携協定に基づいたもの。「道の駅おがわまち」が5月30日にリニューアルしたことを機に、NFTマーケットプレイスHEXAのプラットフォームを活用し、千円のデジタル会員証を千個発行する。

購入者に①同施設での紙すき体験料や、レンタル自転車・トゥクトゥク利用料の割引②仙元山見晴らしの丘公園ローラーすべり台利用料の割引③小川げんきプラザプラネタリウム館利用料の割引―などの特典を用意する。

---

人事

◎ANA（8月1日付）
中国統括室総務VP兼北京支店副支店長兼瀋陽支店支店長兼成都支店支店長兼武漢支店支店長（給与厚生業務部担当部長）鍵和田剛

---

ナビタイムジャパン　自治体・観光協会向け新サービス

## イベント開催時の情報連携促進

ナビタイムジャパン（東京都港区）は7月14日、自治体や観光協会、スポーツクラブなどのイベント主催団体向けに、周辺事業者との迅速な情報連携、イベント来訪者へのタイムリーな情報発信を可能にする「ローカルコミュニティマップ」の提供を開始した。LINE公式アカウントを活用したサービスで、主催者と周辺事業者間のコミュニケーションができるほか、LINEで登録した周辺店舗などの営業情報をデジタルマップに即時反映。混雑や情報不足による販売機会損失の解消が期待される。

「ローカルコミュニティマップ」の全体イメージ

### LINEで情報共有 営業情報を即時反映

同サービスは、大きく二つの機能で構成されている。主催者と周辺事業者間での情報連携が可能な「コミュニティプラットフォーム」と、周辺店舗や観光スポットなどの臨時営業情報をイベント来訪者や地域住民向けに地図上でリアルタイム発信する「デジタルマップ」だ。

コミュニティプラットフォームでは、主催者から周辺事業者に対し、イベント概要やチケット販売枚数、予測来場者数などの情報を、公式LINEを通じて共有。同社が独自開発した生成AIが、店舗の人員増強や来訪者向けクーポンの配信など、イベント規模に応じた具体的なアクションも提案する。

通知を受け取った周辺事業者は、イベントに合わせた臨時営業情報や店舗の混雑状況、限定クーポンなどをLINE上で入力。コミュニティプラットフォームに登録された情報はデジタルマップに即時反映される。

デジタルマップはイベント来訪者向けの機能で、イベント会場周辺の交通情報やグルメ、飲食店、観光スポットなどの臨時営業情報や混雑状況をウェブ形式で提供。周辺事業者が公式LINEで登録したリアルタイムな情報を地図上に表示する。デジタルマップでは、スポット検索機能や経路検索機能、スタンプラリー機能なども利用可能で、イベント主催者の希望に応じたカスタマイズができる仕様となっている。

### 藤枝市と連携協定 AIデータ分析も

同社は、スポーツによる地域活性化に取り組む自治体や事業者向けにDX支援を通じたソリューションの提供・課題解決をサポートする「スポーツビジネス事業」を展開しており、今回発表したローカルコミュニティマップもその一環。既存の他サービスとして、スタジアムでの試合観戦を機に周辺地域を観光してもらうための観光コンテンツ発信アプリ「ユニタビ」などを提供している。

7月23日には、サッカーイベントによる地域経済活性化に取り組む静岡県藤枝市、藤枝市観光協会と「観光DXによるスポーツツーリズム推進に関する連携協定」を締結。観光庁の令和7年度「観光DX推進による地域活性化モデル実証事業」に採択された同市の事業を発展させるべく、このほど本格的な連携に至った。

今後はローカルコミュニティマップを活用し、来訪者の利便性向上、周遊促進、域内消費喚起を推進する。さらに、周辺地域事業者の営業情報や施策結果などを生成AIにインプットし、観光データ分析にも活用。スポーツを核とする地域活性化に向けた体制を構築していくとしている。

締結式の様子

「和」の旅館文化を世界に伝える
日本旅館国際女将会

北海道 登別温泉郷 滝乃家 須賀 紀子
山形 深山荘高見屋 岡崎 純子
山形 展望露天の湯 有馬館 須藤 佳子
宮城 南三陸 ホテル 観洋 阿部 憲子
宮城 ホテル松島大観荘 磯田 悠子
福島 四季彩一力 小口 潔子
福島 雨情の宿 新つた 若松 佐代子
栃木 本家伴久 伴 真澄美
群馬 金盛館せゝらぎ 須藤 美由貴
群馬 如心の里 ひびき野 養田 博美
群馬 万座温泉日進館 宮田まいみ
栃木 鬼怒川温泉 あさや 八木澤 美和
茨城 五浦観光ホテル 村田 和華子・村田 知世
神奈川 箱根吟遊 太田 清子
神奈川 箱根パークス吉野 西島 亜由子
静岡 白壁荘 鈴木 裕香
静岡 観音温泉 鈴木 和江
静岡 黒船ホテル 山本 未姫
石川 かよう亭 上口 和子
愛知 平野屋 平野 志保
岐阜 下呂観光ホテル しょうげつ 長坂 正恵
富山 ホテル黒部 中島 ルミ子
和歌山 冨士屋 小渕 祥子
奈良 古都の宿 むさし野 山下 育代
京都 松園荘 保津川亭 奥村 純子
兵庫 紅葉館 別庭 あざれ 松本 富子
鳥取 皆生つるや 宇田川 富美江
鹿児島 指宿白水館 下竹原 成美
熊本県 黒川温泉 ふもと旅館 松崎 久美子

お問い合せは 観光経済新聞社内 日本旅館国際女将会事務局
TEL.03-3827-9800 FAX.03-3827-9730 e-mail : info@kankokeizai.com
外客誘致と海外ポスピタリティ研修で1995年から活動しています。
Japan. Endless Discovery.